



議会閉会中も案件の審査・調査を行う委員会。その活動内容をお知らせします。

民生生活

インフルエンザ対策

■12月1日開催

健康安全グループより

集団接種の実施は加古川市加古郡医師会が行い、対象は1市2町在住の1歳から小学3年生まで。接種回数は中学生以上原則1回。1歳から小学生は2回接種。接種費用の減免者は280人。1歳・2歳は610人のうち296人が接種。3歳から小学3年生までは1926人のうち

ち724人が接種。町全体での接種率は40.2%。

■1月15日開催

子育て支援施策 福祉グループより

平成21年度に学童保育の公設化に向け加古川市・高砂市・明石市などを視察した。学童連絡協議会役員との話し合いや父母の会の方々と意見交換を実施。学童保育公設化について骨子案をまとめ、すり



▲ふんの放置などの現状を調査。ふんの放置に対し独自にマナーを訴える啓発も見受けられました

合わせをしながら合意できれば事務手続きを進める。

■2月5日開催

「播磨町まちをきれいに する条例」

ごみ、ふんの放置などの現状把握のため町内視察を実施。行政と協議を行い、平成22年12月までには結論を出したい。

建設水道

主要事業の進捗状況

■2月15日開催

所管する各グループの主要事業進捗状況の報告を受けた。

下水道グループ

使用料改定に伴う住民説明会への参加者は延べ20名。低所得世帯に対する緩和措置は、平成23年の6月分まで一年に限り基本使用料のうち増額分300円を申請により減免する。

土木グループ

山陽電車大中踏切を

水道グループ

有収水量は減少傾向が著しく、今年度の減収見込は3千万円程度。また、第三配水池送水ポンプ故障が12月30日に発生し土山駅の北側の210軒程度に影響が出た。機器の老朽化によるもので仮復旧は15分後に、機器の補修は翌1月15日に完了した。

都市計画グループ

大中東地区と野添北地区の一部を対象に市街化調整区域から市街化区域に編入予定。実施は5月頃。古宮第一地区を対象に良好な環境整備を目指し、制限を加える地区計画の策定を進めている。



▲拡幅工事を計画している山陽電車大中踏切

総務文教

全学校園に太陽光発電設置

■1月6日開催

播磨西幼稚園改築予定

国の交付金を活用し、建設。施設は鉄筋平屋建て面積は約786㎡、工事は5月から10月まで。学校園太陽光発電装置を本年度中に設置予定

中学校給食は3学期から

中学校給食検討委員会を設置し、実施計画、授業時間、委託事業者などについて検討。平成22年度3学期完全実施の予定。

■2月16日開催

政権交代による町財政への影響は

▼住民税の扶養控除
16歳未満の扶養親族に係る扶養控除を廃止。
16歳以上、19歳未満の特定扶養親族に係る扶養控除の額を33万円に。

▼暫定税率

軽油引取税は、10年間の税率を廃止。
自動車取得税は、10年間の暫定税率を廃止。

▼たばこの税率

1本につき5円程度上昇見込み。

▼子ども手当

中学3年生までの子ども1人につき、月額1万3000円支給。



▲改築予定の播磨西幼稚園

議会広報公聴

議会だよりは現状のまま

■1月20日開催

大阪府千早赤阪村視察



▲村広報紙と統合した議会広報紙を調査

千早赤阪村は、行政改革の一環から議会だよりを村広報紙と一体化して発行している。合本版のメリット・デメリットや住民の声、今後の課題などを調査した。

■1月29日開催

現行のA4判形態で

経費の削減や編集時間の短縮、公聴活動の拡充に向け、これまで行政視

議会基本条例検討

議会報告会の方法など調査

■2月18・19日開催

行政視察

愛知県北名古屋市と奈良県天理市に議会基本条例の作成経緯、住民の意見の取り入れ方法、議会と行政との話し合い、議会報告会の方法などを調

査した。

住民の意見聴取に「市議会に関するアンケート調査」や「市民の皆さんと議員との校別懇談会」、パブリックコメントなども行われていた。議会報告会は、議員が主体で数多く実施されていた。



▲住民の意見を行政に反映する方法などを調査